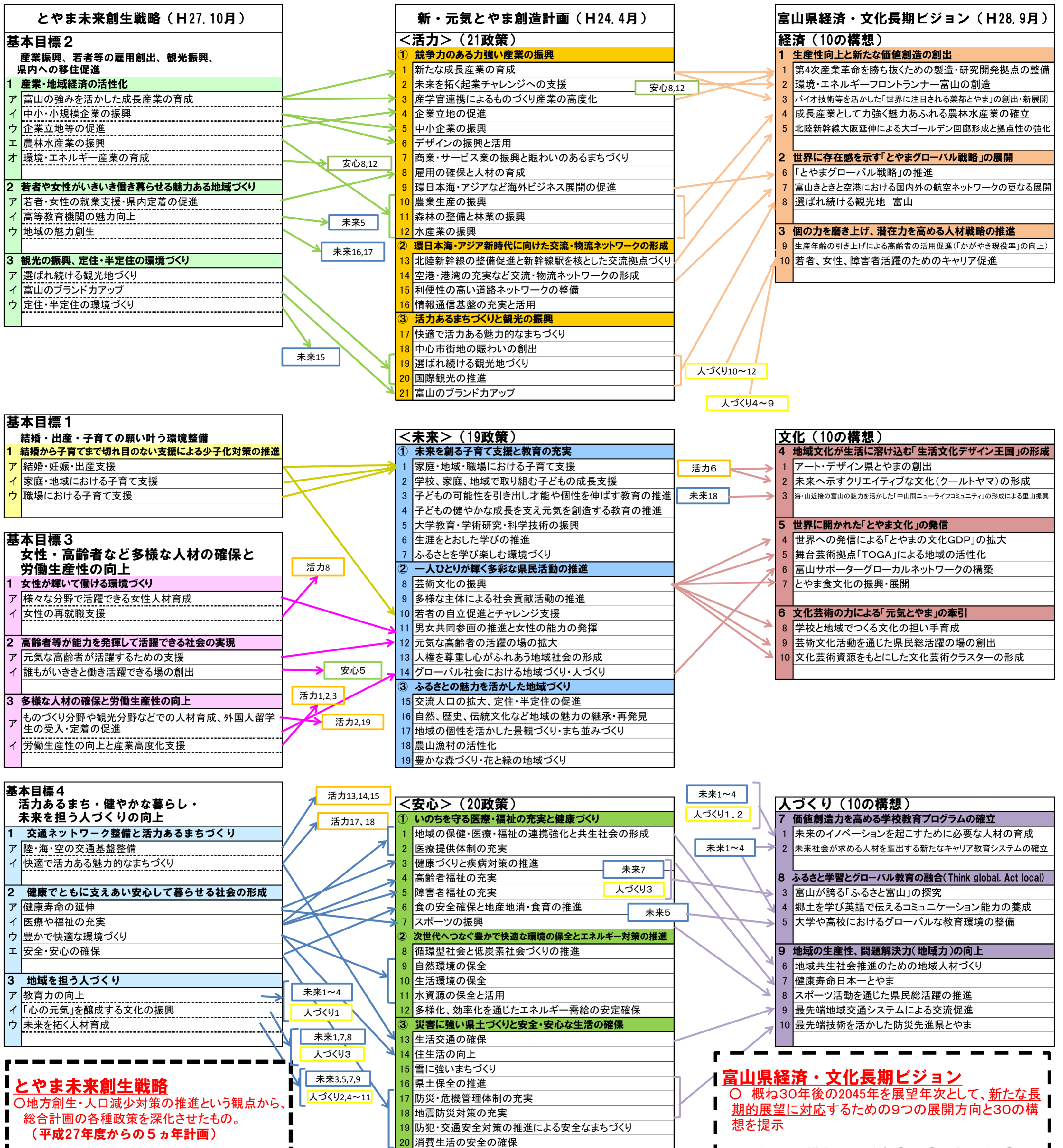


現行の総合計画と「とやま未来創生戦略」、「富山県経済・文化長期ビジョン」との関係について



とやま未来創生戦略
 ○地方創生・人口減少対策の推進という観点から、総合計画の各種政策を深化させたもの。
 (平成27年度からの5ヵ年計画)

○基本目標1 → 未来①
 人口の自然減に歯止めをかけるため、結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策を強化

○基本目標2 → 活力①、③、未来③
 人口の社会増のため、産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進を強化

○基本目標3 → 未来②
 労働力不足への対応を図るため、女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上策を強化

○基本目標4 → 活力②、未来①、安心①～③、人づくり①～④
 人口減少社会における地域の安全・安心、活力あるまちづくり、人づくりを強化

富山県経済・文化長期ビジョン
 ○概ね30年後の2045年を展望年次として、新たな長期的展望に対応するための9つの展開方向と30の構想を提示

○経済10の構想 → 活力①～③、人づくり②～④
 第4次産業革命を勝ち抜くための拠点整備、農林水産業の成長産業化、大阪延伸に伴う「大ゴールデン回廊」、立山黒部の高付加価値化、生産年齢の再定義などを構想化

○文化10の構想 → 未来②
 アート&デザイン、クリエイティブ産業の振興、「とやま文化」の世界発信、文化の観光資源化(文化GDP)、「文化芸術クラスター」による地域の魅力向上などを構想化

○人づくり10の構想 → 未来①、安心①・③、人づくり①
 未来社会に対応した学校教育、新たなキャリア教育システム、ふるさと学習とグローバル教育の融合、地域力を支える人材づくり、地域交通システムの整備、最先端技術を活かした県土づくりなどを構想化